

## 最小構成チェックリスト（ローンチ前）

ローンチ前に「何が揃っていて、何が不足しているか」を 5 分で確認できるチェックリストです。完璧を目指すより、まず“出せる状態”を作るために使ってください。

### 【1】中核メッセージ（1文）

- 誰の（対象）
- どの場面の痛みを
- どう良くする約束か
- その1文を、チーム内で同じ言葉で言える

### 【2】LP（最低限）

- ファーストビューに中核メッセージ（1文）がある
- 提供内容（何をするか）が3点以内で説明できる
- 誰向けか（対象）が明確
- CTA（次の行動）が1つ決まっている（問い合わせ／予約／資料請求など）
- 料金または料金の考え方がある（目安でも可）
- FAQが最低5問ある（修正回数／進め方／守秘／途中解約／制作範囲など）

### 【3】信頼の証拠（最低2つでOK）

- 事例（Before/After or プロセス）
- 実績（過去案件／協業先／プロフィールなど）
- FAQ（不安を潰す）
- 料金（判断材料）

※まずは「2つ」揃えれば出せます。あとから増やせます。

### 【4】説明資料（必要な場合のみ）

- 中核メッセージ（1文）が最初に書かれている
- 課題（相手が困っている状態）が説明されている
- アプローチ（どう解決するか）が説明されている
- 進め方（ステップ／期間の目安）がある
- 料金の考え方／範囲がある
- 事例または実績が1つ入っている

### 【5】SNS（入口の3本）

- 課題共感の投稿（対象の「困った」を言語化）
- 解決の考え方の投稿（順番・判断軸など）
- 信頼の投稿（事例／プロセス／実績／FAQから1つ）
- 各投稿に「次の行動」がある（LPリンク／相談導線）

### 【6】受け皿（問い合わせ・予約）

- 問い合わせフォーム or 予約導線が機能している
- 返信のテンプレがある（受付→次の案内まで）
- 相談の流れ（当日の進め方）が1枚で説明できる

### 【7】公開前チェック（最終2分）

- LP・資料・SNSで「中核メッセージ（1文）」がズレていない
- CTA（次の行動）がどこでも同じ
- 信頼の証拠（事例／FAQ／料金）が見つけやすい場所にある
- “作り過ぎている”場合、拡散素材より先に「信頼の証拠」を優先できている